奄美情報処理専門学校　工業課程　システム情報処理科　自己評価表

１．学校の教育目標

実践的技術教育を通じて、工学的知識・技術の基本を備え新しい"もの"の創造・開発に粘り強く挑戦できる技術者を育成する。
豊かな教養、技術者としての倫理観を身につけさせ、社会に貢献できる広い視野を持った技術者を育成する。
産業のグローバル化に伴い、国際社会において自分の考えを表現できる表現力やコミュニケーション力を備えた技術者を育成

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

地域産業の発展に貢献するため、課題探求能力を有し、設定した課題に向かって果敢に挑戦できる技術者を育成する。

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目標

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

該当の数字を入力して下さい

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	4	4	4	3	4
・学校における職業教育の特色は何か	3	4	3	4	4
・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	4	4	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4	4	3	3	4
・学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界にニーズに 向けて方向づけられているか	3	3	4	4	4

①課題
学校の理念・目標・育成人材像の見直しを行うが、時代の変化・ニーズに対応出来ているかが課題。
②今後の改善方策
時代のニーズに即応できるよう、教員講師ともに育成人材等を常に検討する。
関連企業と連携しながら長期的な本校独自のビジョンを策定する。
③特記事項
地元小中高や市町村が主催するイベントなどに参加し、周知活動を続けていく。

（２）学校運営

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	3	3	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3	3	4	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	3	4	3	3	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3	3	3	3	3
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	3	3	4	3
・業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4	4	4	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	4	3	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	2	2	3	3

①課題
コロナウィルス対策にてリモート授業方法などの効率化。
人事選考の取り組みを継続的に実施する。
②今後の改善方策
学校は基本対面授業を行うが、緊急事態宣言下や陽性者が出た場合を想定してのスムーズな遠隔授業切り替え
人材発掘に力をいれ、提供する教育内容の充実を目指す。
③特記事項
月に1日は全学生遠隔授業の日を設け、遠隔授業操作に順応する。

（３）教育活動

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	4	4	4	4
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に　対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	4	3	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	4	3	4	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の　工夫・開発などが実施されているか	4	3	4	4	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	4	3	4	4
・関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、　実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	4	4	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4	3	3	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	3	3	3	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	4	4	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保　しているか	4	4	4	4	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教育（本務・兼務含む）を確保　するなどマネジメントが行われているか	4	3	4	3	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力　など資質向上のための取組が行われているか	4	4	3	4	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	4	4	4	4

①課題
業界ニーズや在校生の意見を参考に、カリキュラムの検討見直しを行う。
②今後の改善方策
特別授業を担当する企業講師と連携し、業界の求める「人材の育成」「今後必要とされるスキル」を学び、更に改善するよう努力する。
③特記事項
関連分野の企業と連携を開始した特別授業が、5年目を終えることが出来た。
※現在2社の企業が本校学生を対象に特別授業、給付型奨学金を行っている。

（４）学修成果

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・就職率の向上が図られているか	4	4	4	4	4
・資格取得率の向上が図られているか	3	3	3	3	3
・退学率低減が図られているか	3	3	4	3	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3	3	3	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4	4	4	4

①課題
令和4年度退学者1名　学習意欲の低下及び社会的不適応（引きこもり等）
②今後の改善方策
今回の退学者は長期休暇後に欠席しがちになったので、不安がある学生はこまめに面談し、心理面サポートを出来るかぎり行
③特記事項
外国人留学生が全員卒業。来年度希望者がいる場合は適時受け入れ態勢を整えていく。

（５）学生支援

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	4	4	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	4	4	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3	3	3	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3	3	3	3	3
・保護者と適切に連携しているか	3	3	3	3	3
・卒業生への支援体制はあるか	4	4	4	4	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4	4	4	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4	3	3	4

①課題
コロナ過の経済ダメージで進路決定(就職や専門学校を続けるかなど)に影響が出る恐れがある。
本校独自の就職支援体制がほぼ整備されているが、その状況に甘える学生がおり、今後の社会人生活に影響が出る恐れがある
②今後の改善方策
研修旅行を実施し、採用試験や内定企業への挨拶など行う。就職後や県外で一人暮らしの生活するイメージを意識してもらう
卒業生OB・OGの就職体験談など、リアルな意見を聞ける場を整え、在校生の就職活動支援及び社会人としての心構えを整えてもらう。
③特記事項
令和4年度は東京へ研修旅行は実施しました。活動内容は内定先企業訪問や採用試験等の活動等。
※研修に行く人は強制参加ではなく、任意となります。
国の「高等教育の就学支援新制度」や独自の給付奨学金などを軸に、今後も広報活動や認定校に相応しい学生支援を続けてい

（６）教育環境

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3	3	3	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3	3	3	3
・防災に対する体制は整備されているか	3	4	3	4	4

①課題
施設建物は行政から借用しているが、修理等は基本実費。
※老朽化により水道管漏れが発生。補修作業を奄美市教育委員会が実施。
②今後の改善方策
学外の実習、インターンシップは、地域の施設を利用できるよう企業と連携を模索中
③特記事項
県外企業の方を特別講師として招いて、実践的な技術や知識を学ぶ機会を定期的に実施することが出来た。
継続していけるよう努力する。
今後も行政や自治体と連携して、円滑な関係を構築し、教育環境を整えていきたいと考えています。

（７）学生の受入れ募集

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	4	4	4	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4	4	4	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4	4	3	3	4

①課題
今後少子化が進む中でも、定員を充足しないといけない。
②今後の改善方策
各高校の進路ガイダンスや地域事業所の主催の説明会にも参加し、入学人数維持している。
島外からの受け入れをする為にも、HP更新やSNS連携をこまめに行う。
③特記事項
本校の募集活動は、鹿児島県専修学校協会の規定にのっとり正しく募集している。
学納金に関して、PCや教材等の高騰が改善されず従来の金額を維持することが困難となり、次年度は授業料の値上げを実施す可能性があります。

（８）財務

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3	2	2	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3	2	3	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	4	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	4	3	4

①課題
さらなる財務基盤の安定化
②今後の改善方策
関連会社との連携等、雑収入を増やすなどの工夫
③特記事項
本校は、補助金なしで運営している。

（９）法令等の遵守

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	4	4	4	4
・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	4	4	4	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	2	3	3	3
・自己評価結果を公開しているか	4	4	4	4	4

①課題
自己評価の問題点の改善は、職員一人一人の抱える仕事が多すぎてなかなか進まない。
②今後の改善方策
専任職員の増員。システム化で効率の良い事務処理を行う。本校学校教育に賛同してくれる企業等に協力を得る。
③特記事項

（１０）社会貢献・地域貢献

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	4	4	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4	4	4	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4	4	4	4

①課題
学生ボランティア活動は奨励しているが、コロナ過で活動が制限されている。
遠方への出張講座は、就業時間外ではできない。
②今後の改善方策
コロナが収束した際に、ボランティア含めた活動をすばやく行えるよう備えておく。
③特記事項
学校独自のボランティア活動は行える事は出来た。(地域近辺の川や大浜海浜公園の清掃等)
令和5年5月には地域小学校にて小学生を対象に、プログラミング教室及び卒制体験を行う予定です。

（１１）国際交流（必要に応じて）

適切…４、ほぼ適切…３、
やや不適切…２、不適切…１

評 価 項 目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	3	2	2	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等が取られているか	3	3	3	3	3
・留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3	3	3	3
・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか	2	2	2	2	2

①課題

直接の留学生受け入れは、まだしていない。（日本語学校卒業生のみ）

②今後の改善方策

留学生の目的に沿ったサポート、学習を引き続き継続していく。

③特記事項

今年度は留学生1名卒業し、就職することが出来た。現在留学生は0名です。

万が一に備え、留学生受け入れ態勢を継続する努力を行います。

今後も学習を通じて、社会に貢献出来る人材を育成を目標に続けていく。

４．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校独自の給付型奨学金が6年目を迎えた。企業との連携は勿論、学生への周知をしっかりし今後に繋げていく。

コロナ過という大変な状況の中、学校運営の安定化を目指し、納入金の値上げを検討せざるを得ない状況は申し訳ないと感じ

今後も学校運営の安定化を目標にあらゆる情報を活かしていきたい。